

これまでの25年間、ポール・コーガットはジャズ・ギタリスト／作曲家として国際的な評判を着実に構築してきました。彼の最新のCD「Turn of Phrase (ターン・オブ・フレイズ)」では、ジョージ・ムラーツとルイス・ナッシュという伝説的なリズム・セクションをフィーチャーしています。このアルバムはシカゴに拠点を置くBlujazzレーベルから2012年8月にリリースされ、各方面から高い評価を得ています。グラミー賞受賞者であるジャーナリスト、ニール・テサーはこのように評価しました：「これだけは知っておいてほしい。今年はこのギター・トリオより優れたアルバムは出てこないだろう。」

ジャズギターブックのライター山中弘行氏は「現代的なスタイルを持つ素晴らしい演奏家」と言い、シカゴ・トリビューン紙は「洗練されたハーモニー感覚と研ぎ澄まされたモチーフ感覚を兼ね備えた本物の演奏家なのは疑う余地はない。」と評価しています。過去の共演者は、チャールズ・アーランド、クラーク・テリー、J.R.モンテローズ。最近では、ジョージ・ムラーツ、ルイス・ナッシュ、ドリュー・グレス、フランソワ・モウティン、アリ・ホーニッグ、ケリー・シル、ジェイ・アンダーソン、シェリル・ベイリーなど。さらに、マンハッタンの有名な55バー、シカゴのジャズ・ショーケース、ナイトタウン・クリーブランド、クリス・ジャズカフェ・フィラデルフィア、オースティンのエレファント・ルーム、ウィーンにあるポーギー&ベス、オーストリアのInntoneフェスティバル、レッドフック・ジャズ・フェスティバルなど、数多くのクラブやフェスティバルに自己のトリオで出演してきました。また、マンハッタン音楽学校から修士号を取得し、ハミルトン・カレッジのジャズ科講師、UWM Peck・スクール・オブ・アートでも教員を務めています。MarchioneギターとSarno Musical Solutions Electronicsのエンドーサー。

ポールについて、ジョン・アバークロンビー氏はこのように言っています。「ギターへの音楽的なアプローチ、そして作曲技術は一流である」と。オールマン・ブラザーズのウォーレン・ヘインズ氏は「素晴らしいギタリスト」と賞賛しています。ギタリスト、ジェームズ・キープニュースはポールのBlujazzからリリースされたデビュー・アルバム「Know It? I Wrote It!」をこのように表現しています。：「無口でもの静かなジャズ・ミュージシャン、音楽フェスティバルに頻繁に出かけるような社交的なリスナー、両方から受け入れられる記念すべき最初の作品である。」